

## 「2024年度ベトナム国家大学ハノイ校サマースクール派遣参加報告書」

京都大学経済学部1年 藤彦 太一

私は今まで海外に行ったことがなく、ずっと日本で過ごしてきたため、日本の常識でしか物事を考えることができませんでした。しかし、このプログラムで初めて海外に行き、そこでの様々な経験により新たな発見ができ、自分の能力が上がりました。今回のプログラムでは主に3つの能力が向上しました。

まず1つ目は体力です。ベトナムでは授業や観光など時間が許す限り行動したのに加え、自分にとっては修学旅行以来久しぶりの団体行動だったため、非常に体力を必要としました。その海外特有の疲れを経験することができたのに加え、それに耐えることができたというのはのちの海外に行く糧となったのではないかと思います。

2つ目はコミュニケーション能力です。外国の学生との会話は私にとって初めての経験であり、現地の学生との交流の中で話題作りや外国の方とのコミュニケーション方法を学びました。またプログラム参加者との交流を通じて会話の引き出しが増えました。

3つ目は価値観の違いへの理解です。ベトナムは様々な点で日本と異なりました。それは、大規模な交通渋滞、法令順守の甘さ、活気あふれる人々、今現在も成長中の都市の街並みなどです。日常を送る上でも日本と異なっていることが多く、異文化を肌で感じることができ、そして異文化にも慣れることができました。逆に日本に帰ってきたときに少しカルチャーショックを受けたくらいです。この経験は今後海外に行くうえで非常に大事な経験であるのに加え、日本で日常生活を送る中で今まで気づかなかった日本の良さや悪さを発見するうえで非常に大切なことであるように思いました。

また、上記のような能力の向上のほかに、自分の長期の海外留学に対する意識も変化しました。以前は海外留学は多少は興味があったのですが行きたいというレベルにはありませんでした。しかし、今回のプログラムで海外は2週間でも価値観を変容させる力があると気づいたのに加え、長期留学をしようとしているプログラム参加者との会話の中で自分も長期留学に行きたいという気持ちが芽生え、長期留学も視野に入れるようになりました。

今回の短期留学は2週間という短い期間でしたが、間違いなく自分の人生のにとって貴重で重要な経験となりました。ほかの人にもお勧めしたいような短期留学であったと思います。